

背景

- ・大学間競争の激化、大学進学時における若年層の転出
→人口減少による地域の活力低下
- ・30年以上にわたる恐竜化石の発掘・研究、「福井＝恐竜」認知度向上
- ・水月湖の「年縞」は、チバニアンとともに地質年代の世界標準として認定
→恐竜や地質研究のためのフィールドが県内全域に広がる

現状の課題

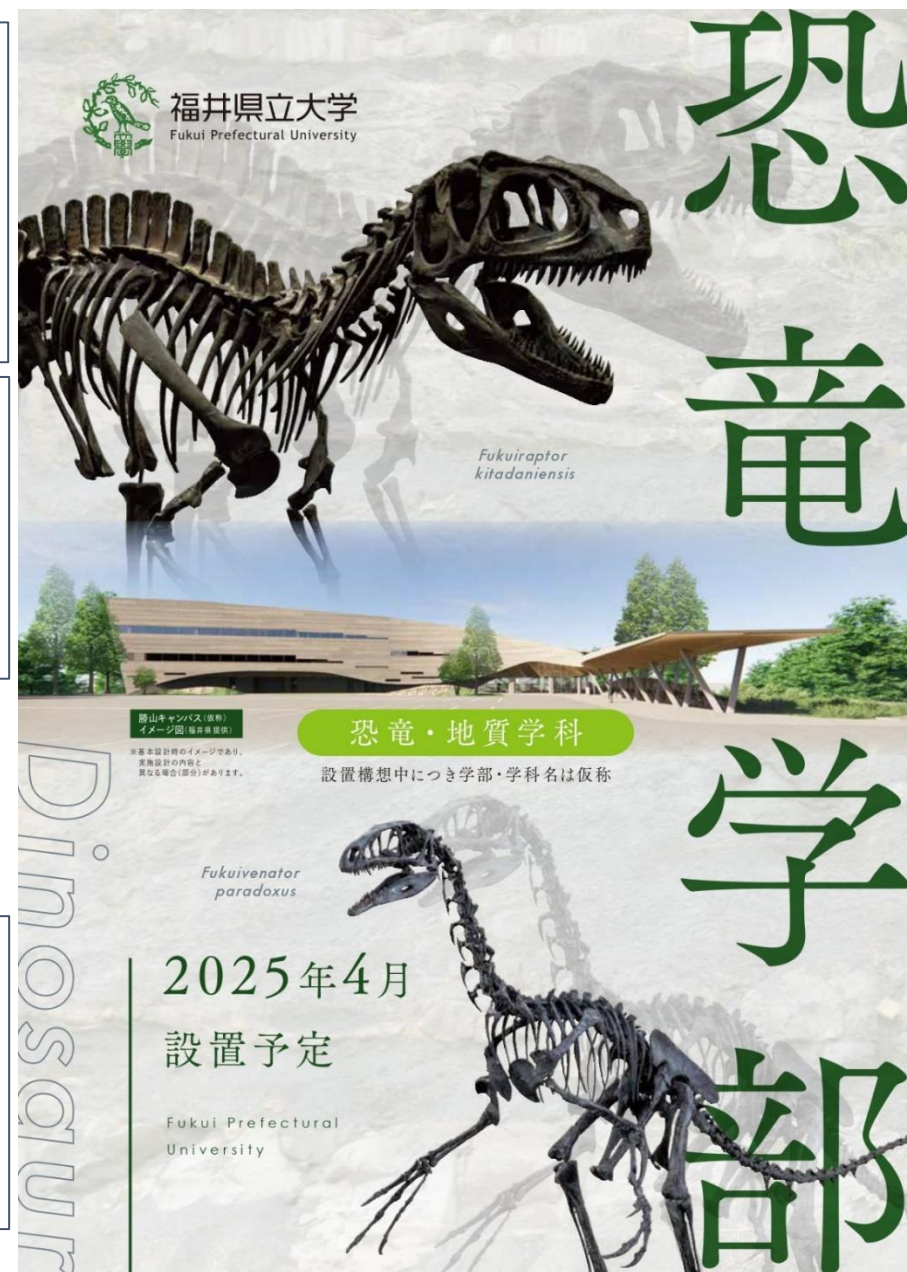
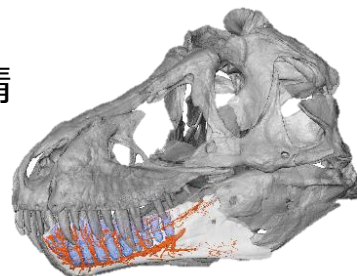
- ・恐竜ブランド発展のための持続的な研究と開発が必要
⇒ **古生物学、地質学、古環境学**を総合的に研究できる拠点
- ⇒ **X線CT等のデジタル技術**の導入した最新の古生物研究の展開
- ・県内のフィールドを活かした地球科学を学べる学部等がない
⇒ **防災減災**のための地質災害に関する学びの場

事業の目的

恐竜学部開設による地球科学問題へ対応できる人材育成と魅力ある大学づくり

これまでの取組

- 2022年度 基本設計
- 2023年度 実施設計、文部科学省へ学部認可申請
- 2024～25年度 建設工事
- 2025年度 **「恐竜学部（仮称）」**開設
- 2026年度 **「勝山キャンパス」**供用開始

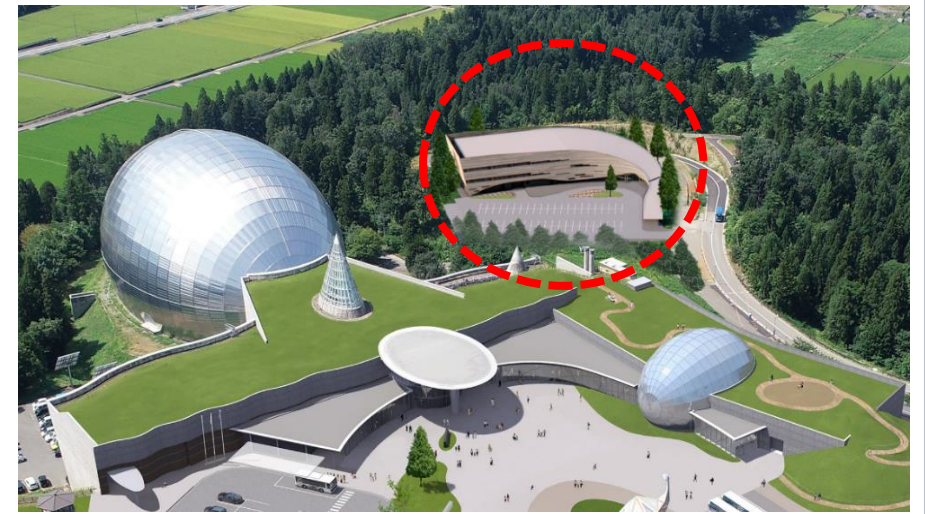


福井県立大学「恐竜学部（仮称）」開設事業

事業内容

- 福井県立大学**勝山キャンパス**整備
2025年冬、新学部生の学びの拠点となる学部棟が完成予定
（供用開始は2026年度からの予定）

- ・県立恐竜博物館の近傍に整備することにより、設備等の共同利用や博物館研究員の専門性を生かした講義や助言等を実施
- ・博物館との連携において、学生が博物館の調査・資料収集・展示作業を学びながら、実践的な教育・研究へ参画



【手前:県立恐竜博物館 奥側:学部棟イメージ】 ※基本設計時のイメージであり、実施設計の内容と異なる場合があります。

得られる成果等

- 成果・目標
・恐竜を中心とした地球科学分野における研究の継続と発展による**福井県のブランド力強化**

- ・若年層の人口流出を抑制し、**地域に定着する人材育成と地域の活力の維持**



○企業の皆様へのお願い

- ・企業版ふるさと納税による本プロジェクトの応援
- ・恐竜学部との共同研究・受託研究への参画
- ・インターンシップ受入れ

○企業のメリット

- ・SDGs達成への貢献のPR、企業ブランドイメージの向上
- ・古生物や地質への最先端かつ幅広い大学知見の活用

【連絡先】

福井県 総務部 大学私学課 高等教育グループ
TEL : 0776-20-0245 Email : daishi@pref.fukui.lg.jp
(公立大学法人福井県立大学 TEL : 0776-61-6000)